

**学習療法の気付きから。
～お客様の個別レク～**

芦別恵恵園
愛G サブリーダー
鈴木悠司

27年度 学習療法委員会

【目標】

- * 学習療法の支援回数の定着
- * 楽しく、笑いある正しい学習療法の実践

【活動・取り組み】

- * 月次報告書を作成(毎月)
- * 学習療法施設間交流会開催(7/26 35名の参加)
- * 学習療法家族交流会開催(10/18 49名の参加)
- * サポーター研修会への参加(12/22 24名の参加)
- * 受講者の集い(2/13 32名の参加)
- * 学習療法一斉支援(3/3 24名の参加)

【委員会メンバー】

- * 青柳L・松藤SW・東口SW・佐々木SW・坂田CW・齊藤CW
小森CW・宮野CW・松井事務員・鈴木 計10名

家族交流会。

49名の方々に参加して頂いております！

展示物の作成

ご家族様へのロールプレイ

共に100歳のお客様についての発表でした！

事例発表



懇親会

「力を合わせて頑張りましょう！」

「はやくまた始まればいいね！」

32名の参加！

受講者の集いを開催！

施設間交流会

* テーマ
「心(笑顔と尊厳)を大切に、やる気を引き出す。」
・当日は35名の方々に参加して頂き、開催。

ロールプレイ

支援してみての困難事例について

「難しかった。」

「お客様にあった関わり方伝え方が大切！」

次回は「拒否が強いお客様への誘い方」等、行ってみたい！

事例発表

検討したい事聞きたい事等を発表！

「情報共有を行ない、
お客様を知っていく！」

「毎日関わっていく事が
大切！」

学習療法センターの
お二人から

「空知地区から学習療法を
一緒に盛り上げて行きましょう！」

「勉強になりました！」

「自分の施設でも頑張ってみます！」

平成27年度 第2回
学習療法施設間交流会

開催後からの取り組み

「取り組み」

- * 学習療法の為の分担表を各ユニット分、作成。
- * 作成後より、徐々に支援回数が増えております。

「課題」

- * 行なえている職員に偏りがある。
- * 作成しても支援出来ない職員がいる
- * 分担表が無いと行えない職員がいる。

の改善。

アンケートより。

- * ロールプレイについて。
・実演と見学を半数づつに分けて行うと良いと思った。
- * 事例発表、グループ討議について。
・職員間の情報の共有が大切。
- * お客様にとって「何が大切なか。」等を考えて、実践していく事の大切さ。
- * 学習支援は一人でやっているのではなく、施設全体で共同して取り組んで行かなければ継続しない。

個別レクにつなげる

「経緯として。」

- * 自分の担当の個別レクを行っていない。
- ➡
- * 何をしようか。
- ➡
- * 字を書く事が出来る。奥様に日頃の感謝を直筆で書いて、渡してみる。
- ➡
- * 「家に帰って、渡した方が良いのでは？」
- ➡
- * 自宅に帰る計画をたてる。

自宅での様子。

「落ち着く。」

「そのままだ。」

奥様・本人様にとって、どうだったか。

「良かったです！」

自宅が1番落ち着く場所

自分にとって、どうだったか

本人様が書かれた物です！

おかあさんへ
いつも
ありがとう
たけし

個別レクから。

入居前に書かれた最後の文字です

「3」と指でされているところ

学習・個別レクからの気付き。

* 維持出来ているという事を大切に！

来年度に向けて

* 来年度の委員会の目標
「正しく、楽しい学習療法の実践の定着。」

* 個人の目標
「学習の30分をお客様の為の時間にする。」

職員(サブ)として

- * 情報の共有
- * お客様、ご家族様にお返しする。



最後に



委員会活動同士が連動していく

